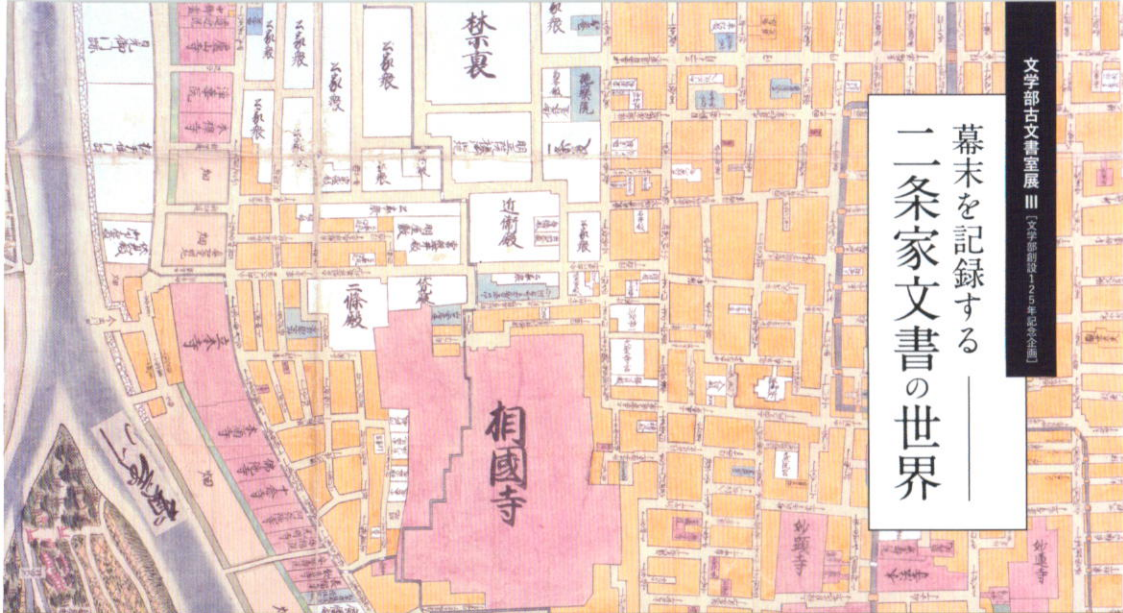


文学部古文書室展Ⅲ〔文学部創設125年記念企画〕

幕末を記録する
——
二条家文書の世界



2015年 10月5日(月) — 10月23日(金)

10:00-17:00
[金曜 19:00 まで]

慶應義塾大学アート・スペース〔土日祝日閉館〕 慶應義塾大学正門向かい 入場無料

The World of Paleography III
Recording the Late Edo period:

NIJO FAMILY DOCUMENTS

文学部古文書室展Ⅲによせて

一昨年、初めて開催した文学部古文書室展Ⅰでは、「野村兼太郎収集資料の世界」として、本室所蔵史料の中心を占める農村関係文書主体の展示会を、そして昨年の文学部古文書室展Ⅱでは、「「武」を記録する」として、武家関係文書を中心に展示会を行ってきました。本室所蔵の基本的な史料を紹介することを目的に据えた、展示品も20点に満たないごくささやかな試みに過ぎませんでしたが、幸い、学生、教職員、一般の方も含め、多くの皆様にご来場いただくことができました。

今回は、五摂家の一角を占め、天皇の即位儀礼のひとつである即位灌頂の秘儀を代々執行するとともに、幕末期には公武合体派公家として独特な役割を演じた二条家の文書を中心に、展示会を開催することにいたしました。

本室所蔵の二条家文書は、家臣たちにより毎日書き継がれてきた役務上の日記・記録類約1300冊と、その他の一紙類約1000点など都合2300点ほどになり、時代的には文化文政期以降、幕末から明治初頭のもものが大部分を占めています。残念ながら、虫損などのために開くことすらままならないものや、一部が欠損している冊子類も少なくありませんが、今回はその中から「幕末を記録する」というサブタイトルを付け、幕末期を象徴するいくつかの出来事を選び、その関連史料を展示します。

孝明天皇の厚い信頼を受けつつ、将軍家茂や慶喜、京都守護職松平容保などと密接な交流を持ち続けたことで知られる二条家当主斉敬をめぐる記録を通じて、広汎な公家の活動のごく一部に過ぎませんが、二条家と朝廷や幕府、大名や百姓一揆の指導者との関わりについて、実際の史料を御覧いただきながら想像していただければ幸いです。

慶應義塾大学文学部古文書室

展示会協力

慶應義塾大学三田メディアセンター

同志社大学歴史資料館

京都教育大学教育資料館まなびの森

ミュージアム

倉持 隆 (慶應義塾大学三田メディアセンター貴重書室)

中村 佳史 (HUMI コンサルティング)

浜中 邦広 (同志社大学歴史資料館)

吉江 崇 (京都教育大学教育学部)

文学部古文書室

柳田 利夫 (室長)・倉田 敬子 (副室長)

重田 麻紀 (古文書室研究員)

山本 晶子・須藤 遼・久光 翔 (スタッフ)

木野 涼介 (前スタッフ)

文学部古文書室について

慶應義塾大学文学部古文書室は、経済学部教授野村兼太郎が戦前・戦後を通じて収集した文書を中心に、その後、慶應義塾出身者などから寄贈・寄託を受けた資料をも併せ架蔵しており、これらの歴史資料を保管・管理し、未来へと受け継ぐとともに、広く学術利用に供することを目的として、2009年、文学部の下に設置された組織です。

野村兼太郎は、鋭意収集した資料を自らの研究に駆使するだけでなく、大学院等の教育に活用し後進の育成の為に積極的に利用してきました。その没後、同教授の薫陶を受けた文学部教授中井信彦、経済学部教授速水融らの手によって収集資料がまとめられ、1969年に「古文書室」が創設されました。

「古文書室」はその後も、大学院教育等に利用される一方で、経済学部を中心とする関係者の手に依り、所蔵資料の整理・目録作成作業と、資料を用いた学術的な研究が重ねられ、『三田学会雑誌』などに多数の成果が発表されました。

1989年からは、文学部教授田代和生を中心に、学生・院生の教育を兼ねた資料の整理作業が組織的に進められ、「所蔵古文書検索システム」の開発・公開や所蔵目録の刊行がなされ、資料の一般公開も開始されました。

2009年4月、「古文書室」は慶應義塾の組織として正式に文学部の下に位置づけられることとなり、慶應義塾大学文学部古文書室と改称されました。これを機会に、慶應義塾大学メディアセン

ターの協力を得て、同センターに所蔵されていた資料の移管を受け、野村収集資料全体が本室で一括管理されることになりました。

文学部古文書室には、現在までのところ常勤の教職員は配置されていませんが、可能な範囲で、所蔵資料の管理・保管体制の充実と、一般公開について積極的に取り組み、慶應義塾、文学部、速水融・田代和生両名誉教授からの物心両面にわたる援助と助言を受け、2011年には史料保存庫・閲覧室の改修を実施しました。また、遅々とした歩みではありますが、所蔵資料検索システムの拡充、資料のデジタル化とホームページ上での公開などを並行して進めています。

今回、古文書室展Ⅲの開催に合わせ、整理作業とデジタル化が完了した二条家文書の大部分について、昨年度の試験公開に続き、検索システムへの正式登録と、検索システムを通じての画像表示・画像全体の一括ダウンロードを可能にすることと致しました。今後、資料のデジタル化の進展に合わせ、逐次公開を進めてゆきます。

また、既にホームページ上で一般公開しているもの以外にも、画像データを所有しているものについては、逐次、画像表示、一括ダウンロードが可能となるように作業を進めるとともに、昨年度からは、インターネット経由での資料閲覧対応を開始しております。まだまだごく一部の資料に限られますが、来室することなく資料の閲覧が可能になっています。併せて、ご活用いただければ幸いです。

文学部古文書室で公開中の所蔵資料

I サムネイル表示と ZIP ファイルによる画像データ提供

<http://kmj.flet.keio.ac.jp/material.htm>

石城日記（全七巻・附録）

朝鮮船入津之圖・朝鮮訳官行列之圖

狩谷掖齋模刻古文書三種

模刻根岸武香翁蔵古田巻

寛文十年癸丑歳九月吉日室康徳院寄進焉

南北朝・室町初期土地関係文書類

供御院預右衛門少尉磯辺信貞上書

田巻

土左國津野本庄舊記

山城國陵田坪付 建保五年国司注進

東大寺文書（永久五年宣旨他十一通）

深溝松平家文書（A80-2～13）

II 検索システム経由での画像表示

<http://kmj.flet.keio.ac.jp/search.htm>

二条家文書（既撮影分）他

III 本室刊行物の PDF による公開

<http://kmj.flet.keio.ac.jp/publish.htm>

『慶應義塾大学所蔵古文書目録 農村文書 武蔵国・上』

『慶應義塾大学所蔵古文書目録 農村文書 武蔵国・中』

『慶應義塾大学所蔵古文書目録 農村文書 武蔵国・下』

『慶應義塾大学所蔵古文書目録 農村文書 南関東』

『慶應義塾大学所蔵古文書目録 武家文書 相良家』

『慶應義塾大学所蔵古文書目録 武家文書 宗家・柚谷家』

慶應義塾大学文学部古文書室

keiokomonjo@gmail.com

<http://kmj.flet.keio.ac.jp/>

